

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2011年1月9日

### 聖日礼拝

第一テサロニケ連講17

「喜べ、祈れ、感謝せよ」

1テサロニケ書5章12-22節

竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

1テサロニケ人への手紙5章12-22節

## 12 兄弟たちよ。

あなたがたにお願いします。  
あなたがたの間で労苦し、  
主にあってあなたがたを指導し、  
訓戒している人々を認めなさい。

## 13 その務めのゆえに、

愛をもって  
深い尊敬を払いなさい。  
お互いの中に平和を保ちなさい。

## 14 兄弟たち。

あなたがたに勧告します。  
気ままな者を戒め、  
小心な者を励まし、  
弱い者を助け、  
すべての人に対して  
寛容でありなさい。

**15** だれも悪をもって

悪に報いないように気をつけ、

お互いの間で、

またすべての人に対して、

いつも善を行うよう務めなさい。

**16** いつも喜んでいなさい。

**17** 絶えず祈りなさい。

**18** すべての事について、  
感謝しなさい。  
これが、  
キリスト・イエスにあって  
神があなたがたに  
望んでおられることです。

**19** 御霊を消してはなりません。

**20** 預言をないがしろにしては  
いけません。

**21** しかし、  
すべてのことを見分けて、  
ほんとうに良いものを  
堅く守りなさい。

**22** 悪はどんな悪でも避けなさい。

# 説教

1テサロニケ連講17

「喜べ、祈れ、感謝せよ」

1テサロニケ人への手紙5章12節-22節

竿代 照夫 牧師



主テキスト：

「いつも喜んでいなさい。  
絶えず祈りなさい。  
すべての事について、  
感謝しなさい。  
これが、  
キリスト・イエスにあって  
神があなたがたに  
望んでおられることです。」

(1テサロニケ5：16－18)

はじめに：文章の流れを見る

12－24節：

「キリスト者としての生き方」  
についての教え

- ・ お互いの心遣い(12－15節)：  
「すべての人に対して善を」
- ・ 個人的な心の姿勢(16－18節)  
「喜べ、祈れ、感謝せよ」
- ・ 弁別力の必要 (19－22節)
- ・ 聖化への祈り (23－24節)

# 1. いつも喜んでいなさい

(16節)

- ・ 苦しみの中にも喜ぶ：

(2：14、3：3-4、

使徒16：25)

- ・ 自然感情以上のもの

- ・ それは聖霊が齎す喜び：

(ローマ14：17、

ガラテヤ5：22)

- 喜ぶ理由：

現在の救い、

将来的な栄光(1ペテロ1:5-9)、

益となし給う神の摂理の故

## 2. 絶えず祈りなさい（17節）

- 神に依存する人間
- 祈りの心の継続
- 「祈りの時」も必要：  
個人として、グループとして

3. すべてのことについて、  
感謝しなさい（18節a）

- 感謝の源：救いと摂理のゆえに
- 「すべて」には、  
あらゆる環境が含まれる

## 4. これらは私たちへの神の求め (18節b)

- 「これ」とは：  
喜び、祈り、感謝のすべて
- 神の求めは、  
喜び、祈り、感謝する  
クリスチャンを見ること
- ジョン・ウェスレー：  
「メソジストの人柄」
- キリスト・イエスにあって可能

# おわりに

- ・ 怒り、焦り、眩きの原因を  
反省しよう
- ・ 喜び、祈り、感謝を実行しよう